

暖冬と云えど冬の底の二月はやはり寒く、まだカシミヤが活躍！
春が近いとはいえ三月までは油断が出来ませんね。

カシミヤのUTOとしては、まだまだ冬が続いてほしいというのが本音です。

昨年は十一月のフジテレビの全国放送出演を機に、UTOがTVで紹介される機会が沢山ありました。お陰様で、ふるさと納税も大好評。カシミヤのUTOが全国デビューの年になりました。

今年初のお客様として、フィギュアスケートの浅田真央ちゃんが、北上の岩手工場に来てくれました。新年の嬉しいサプライズです！



【マスコミ紹介の反響】

この冬に入って、UTOが全国放送で紹介される機会に恵まれました。反響が大きく全国放送のマスコミの影響力の凄さを知りました。

*十一月二日(月) フジテレビ ノンストップ

当社社長の宇土がゲストコメンテーターとして出演。出演中から会社には問い合わせの電話が鳴りつぱなし。ネットショップには十分おまぐらいにオーダーが入り大わらわ。

*十一月二十八日(金) テレビ朝日 羽鳥真一のモノニングショー

ふるさと納税ウェブサイトを、ふるさとチョイスの須永社長さんが『まだ間に合うふるさと納税』のコーナーで、UTOの天使の大判ストールを羽織って出演。番組の中で、農水産品以外にも、「北上市ではカシミヤの返礼品がある」との発言があり、週明けに二百件の申し込みがびびり。

*十二月三日(木) フジテレビ 直撃ライブグッツ

ふるさと納税特集の中で、返礼品として、大好評北上市産カシミヤ100%のマフラーを紹介されて、週明けにまた二百件近い申し込み。

*十二月十一日(金) TBS、TBS、TBS

ふるさとチョイスの須永社長さんが大使大判を巻いて出演し、「北上市で世界で唯一カシミヤのオーダーが出来る工場があり返礼品がある」と紹介。年度末も重なり大反響でした。

★岩手工場の挑戦★

二人には、本社スタッフの飯塚です。年末は猫の手も借りたいほどの忙しさでしたが、年明けから少し落ち着き、スタッフ、職人ともに今年の冬に向けて気持ちが向くようになってきました！昨年末のメディア露出の影響もあってか、新しいお客様にご注文・お問い合わせをいただくことが増えたので有難い気持ちでいっぱいです！お客様からのご注文やお礼のお言葉をいただくのが気持ちもどんと前向きになり、新しい企画を考えのにも熱が入ります。

ユーザーの夢のひとつに、「ファクトリーショップ」という自社工場の隣で販売したいという目標があります。そこで、今年は岩手県北上市にある自社工場と地域の方々をお客様にイベントのような形でユーザーを知っていただくための企画を計画中です！

また計画の段階なのですが、岩手工場の職人の仕事を間近で見ていただきながら、出来立てほやほやのカシミヤニットに触れたり、自社工場ならではのサンプル品や、アウトレット品などをお手頃にお求めいただけたり……きっと楽しんでいただけると思います！

機会がありましたら、是非自然豊かな北上にいらしてくださいね！



【青山・表参道界隈】

UTOはこんな街から発信しています

ニコライ・バーグマン フラワーショップ

青山の内通りに素敵な花のお店



早いもので、ここ青山で会社を始めて二十五年が過ぎました。最寄りの駅は表参道ですが、会社が青山通りから一歩入った骨董通りにあるのですが、普段は大通りを避けて内側の細道を歩き通動しますが、約四半世紀にもなるので青山も随分変わりましたが、青山独特の静かさや落ち着き感は今でも健在です。

青山の良さは表参道通りや青山通り等の表の大通りや通う静かな大人の雰囲気だと思えます。こんな処で商売して成り立つのかしら？と余計な心配をしたくなるような処に賛沢でハイセンスな店に出会ったりするの青山らしい処です。通りがかりの人が入ってくることは考えられないので、予め知っている人が来るのでしょうか。お得意様や遠くからわざわざ来てくれるような店が表通りのスーパーブランドの大型店より店格がずっと上のように思います。

毎日通る道すがらにある、ニコライ・バーグマンのフラワーショップも前を通るのが楽しみなお店の一つです。ニコライ・バーグマンと云うと、デンマーク出身のフラワーデザイナーで、お花の贈りもの箱で有名になりましたね。真っ黒の箱の中に色とりど

りの花が敷き詰まった様子を初めて見た時は感動しました。

表通りにお花が目立つようにお店を構える切り花屋さんとは違い、青山通りから一歩も二歩も入った処に高級なお花をそえています。お花の教室や出張でのビジネスが主なようです。通りがかりの人にアピールをするのがメインではないように思うので、お店を綺麗なお花で飾ることが嬉しいんでしょうね。それが評価されたので、最近ではテレビ番組の対談の舞台や、コマーシャルにも使われて度々見かけます。

地下鉄表参道駅のJCBプラザ出口を出てすぐ左に入ると自然化粧品のアベダがあります。その角を左に入りますが、知らない人はあまりここまでは来ないでしょう。最近、ガイドブックやスマホのナビで探している人を見かけます。

最近は大通りの大型店だけではなく内側でひっそりと商売している店も評価されるようになったように思います。青山に来られたら大通りの一歩内側を彷徨うのもお勧めです。

カシミヤ100% 12G ロングVネックチュニック



1112-1290 ¥49,680 税込

お尻が隠れるぐらいのチュニックのプルオーバーです。女性らしい深いVネックは一枚でも、インナーを合わせても着用可能です。春の装いにもおすすめです。

カシミヤ100% 12G 長袖CPO(衿ぐり深め)



1112-1287 ¥48,600 税込

鎖骨がきれいに見える女性らしいネックラインのプルオーバーです。ベーシックなデザインでコーディネート幅が広がる一枚です。

カシミヤ100% 天使の3色ボーダーストール



1312-3193 ¥27,000 税込

驚くような柔らかさが特徴の天使のストールシリーズの3色ボーダーストール。軽やかな配色で春ファッションをお楽しみください。

カシミヤとニットの話 * (五十三)

ようこそ浅田真央ちゃん UTO岩手工場へ



2016年最初のお客様は
スケートの浅田真央ちゃん

1月8日に盛岡で行われる大会に出場の真央ちゃんが練習の合間に北上まで来てくれました

最初はお互いに緊張気味でしたがすぐに和気藹々せつからカシミヤ造りを体験してもらおうということでニットならではのリングングを体験してもらいました。難しいリングングをアスリートならではの集中力と器用さでかなり早く完成。真央ちゃんらしいと色と皆で選んだソックスの天使のストールを大変喜んでくれました。

高橋北上市長と、及川副市長さんも忙しい中、駆けつけてくれました。今年は春から縁起が良い!



テレビ出演の顛末

フジTV・朝の番組
ノンストップ

フジテレビの人から、カシミヤのことを紹介したいと電話をいただきました。先方は当社のHPや私の本も読んでくれてとても勉強熱心です。カシミヤを紹介して頂けるということなら何でもお話ししますと、知っている限りの話をしました。何度か話しをする中で「出演して頂けますか?」と軽く依頼されました。テレビは「収録して放送」と、思っていましたので、「僕で良かったら」と気軽に引き受けました。

で、いつの収録で、いつの放送、第一なんという番組なのかを聞いていません。先方は言ったそうですが、こっちは全然頭になかったです。忘れたころ電話があり、「月曜日の放送ですから日曜日に収録しますから!」そして、会社のショールームで撮影したいとのこと。

「ほう! 翌日の放送分を前日に撮るのか? テレビ局は忙しいんだな」と思いながらも、「休日ならゆとりと撮影できるのでどうぞどうぞ」と了解です。

日曜日、昼ごろ凄量の機材とメンバーがぞろぞろ登場! その日のディレクター氏の言葉に唖然!

「明日(十一月二日)八時にフジTVへお願いします!」

「エエッ、テレビ局に行くの?」

「もちろんですよ! 生放送ですから!」

「エエッ、取材と収録だけじゃないの?」

「なんと初めてのテレビ出演が生放送。なにせこっちは、その「ノンストップ」と言う番組を一度も見たことが無いのでどんなに進行するのか全く分からない。よくもこんなんで受けたものだと自分に呆れます。

「出てもらわないと困ります! 台本もこの通りです!」

「アチャー! もう仕方ない! 覚悟を決めて出るっきゃない!」

メインはバナナマンの設楽統さん。ゲストがリリコさんと井戸田さんで、番組はとっても和やかに進行。さすがプロが撮るのと我がUTOのショールームもなかなか立派。

当日、岩手の工場には同行の飯塚が電話して間に合ったけど、他は誰も知らず青山の会社の面々も全く聞いていないので何の番組で何時から放送が始まるのか全く分からず十時過ぎから電話が鳴りっぱなしであたふた。ネットは、五分おきぐらいに注文が入り大わらわ。さすが全国放送。ト素人の、生放送のドタバタ顛末でした。



世界のホテルを旅する(五十三)

元 旅行屋のお勧め 台北・台湾
国賓大飯店 (アンバサダーホテル)

一九七〇年に初めて台湾に行った時からおそらく四五回はこのホテルに泊まっていると思います。

国賓大飯店と書きますが英語表記ではアンバサダーホテルなんです。アンバサダーなら大使じゃないの、思いましたが大使は日本語で、中国語では国賓なのか? 同じ漢字でも違うんだ! と同じ漢字表記でも日本と中国では意味が違うことを学びました。

国賓大飯店は台湾では最も老舗ホテルのひとつで、東京で言えば帝国ホテルのようなホテル。迎賓館のような丸山大飯店が建ったり欧米のラグジュアリーホテルが進出して来てちよと呑み気味ですが、立地や知名度では抜群のホテルです。

一度は、このホテルに泊まって一泊二日の台湾出張と云うこともありました。当時、台湾でニットを作ってもらって、展示会サンプルが間に合わず台北まで飛んで行って打ち合わせして、サンプルを手持ちで帰るという超忙の出張でした。

ニットの前は旅行屋でしたので多くの国を訪れましたが、台湾は大好きな国で七、八回は訪れました。台湾の人たちはおしなべて親日的で日本人だと分かるのと特に親しくしてくれ、台湾で嫌な思いをしたことはほとんどありません。

義父が日本統治時代の台北帝大の医学部卒といこともあり、多くの台湾の人を知りました。統治と云うと現地人に対する虐待などがすぐに頭に浮かび日本人として心配していましたが、直接お話しする機会が多く生の声を聴くことが出来ました。心配したようなことは全くなく、医学の面などでは、台湾の衛生観念を飛躍的に向上させて風土病なども激減したと、医療の専門的なことも教えてもらいました。

義父の友人たちは日本の教育を受けて日本の帝大卒業生の人達です。好意的なことには理解できますが、自分達だけではなく、多くの台湾の人たちは日本の統治を評価していることを聞いてとても嬉しく、安心した想いがあります。

七〇年代初めころは、ホテルの部屋から見る朝の通勤風景で自転車の洪水を見た時はビツクリしてまた台湾のパワーを感じましたが、八〇年代後半はバイクに変わり、今は車の洪水で時代の移ろい台湾の発展を実感します。

